

ナンバリングの設定方針

國學院大學
教務部委員会

1. ナンバリングの構成

- (1) 学問分野 ……3桁
- (2) 専門・共通・資格の別 ……1桁
- (3) カリキュラム帰属コード・運営学科コード ……1桁+1桁
- (4) レベルコード ……3桁

(1) 学問分野

- ・ 科研費の分野別コードを採用。重複等は適宜調整。
- ・ 國學院独自コードを一部採用。

國學院独自コード表

神道学：SHS 國學院科目・國學院研究：KOS 法学・政治学：LAP
初年次教育：FYE 入学前教育：DEE インターンシップ：CAE
教職課程教職科目：TTP（人間開発学部の特設科目は専門コードをふる）
資格課程科目：QUP（図書館学、博物館学等の独自コードは使用しない）

(2) 専門・共通・資格課程の別

- 1：共通教育科目 2：専門教育科目 3：資格課程科目（教職を含む）
4：その他

(3)-1 カリキュラム帰属コード（アルファベットまたは数字1文字）

当該科目を開講している組織（共通教育／学部・学科・専攻）

(3)-2 科目運営母体コード（アルファベットまたは数字1文字）

当該科目を運営・提供している、母体組織（共通教育／学部・学科・専攻）

コード表

学部・学科・センターコード（文学部、神道文化学部は学科コードを使用する）

1	（文学部）	V	法律専門職専攻	5	人間開発学部
N	日本文学科	Z	政治専攻	A	初等教育学科
R	中国文学科	3	経済学部	K	健康体育学科
S	外国語文化学科	F	経済学科	L	子ども支援学科
B	史学科	T	経済ネットワーク学科	8	共通教育センター
D	哲学科	W	経営学科	9	教職センター
2	法学部	4	（神道文化学部）		
U	法律専攻	P	神道文化学科		

(4) レベルコード

- 百の位 000： 要卒単位外の科目（入学前学習、リメディアル教育など）。
100： 初年次教育。導入・入門学修。
200： 基礎学修、または、基礎から発展的学修への展開科目。
300： 専門的学修、または、発展的・応用的学修をおこなう科目。
400： 学士課程最終段階の授業科目。

- 十の位 0 番台：当該カリキュラム、当該レベルの中の基幹科目
10 番台：カリキュラムの構造に応じて、学問分野ごと、学修目標ごと、
科目区分ごと等で十の位を決定する。

- 一の位 01：当該分野、レベルの基幹科目

レベルコード統一基準

- ・専門科目の基礎演習・導入演習等の初年次導入科目は、下2桁を10とする。
(例) 史学導入演習(史学科) HSG-2-BB-110
- ・卒業論文、卒業次演習、卒業研究等の最終学修は、下2桁を90とする。
(例) 演習・卒業論文(史学科) HSG-2-BB-490

(注1) 同一名の他学科(他専攻)の別科目、運営学部(学科)は単独だが同一内容の科目が複数学科でカリキュラム上開講されている科目(専門教養科目を含む)は学科及び教育分野ごとに独自コードをふる。

(例) 史学科が開講する同一科目を、他学科の専門科目に入れている例

史学科	西洋史概論 I	HEA-2-BB-233	(史学科では基礎学修レベル)
法律専攻	西洋史概論 I	HEA-2-UB-278	(法律専攻では発展展開レベル)
初等教育学科	西洋史概論 I	HEA-2-AB-395	(初等では発展応用レベル)
(専門教養科目)	西洋史概論 I	HEA-1-XB-212	(専門教養では基礎学修レベル)

(注2) レベルコードが3桁内で収まらない場合は、299-1、299-2などのように枝番を使用する。